

2023年  
令和5年  
7月号

# 広報 たっこ



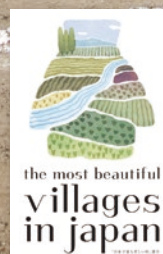
## 田子町チャレンジデー2023

5月31日、田子町チャレンジデー2023が開催され、当日は多くの町民の皆さんが運動やスポーツに取り組みました。詳しくは2ページをご覧ください。

### [CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2  
田子町チャレンジデー 2023  
高校ご入学おめでとうございます
- トピックス…………… 3  
第一生命との包括連携協定締結  
豊かな心を育む～人権の花運動～ ほか

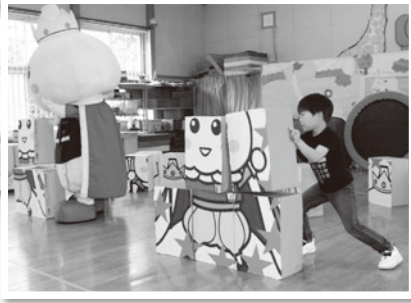
- お知らせ…………… 7
- 公民館情報…………… 10  
【町民プール開き】のお知らせ ほか
- 図書館情報…………… 11  
図書館をご利用ください
- 情報スクランブル…………… 12  
学校の話 田子幼稚園 ほか







町民体力測定



町長と王子にチャレンジ (田子幼稚園)

## CHALLENGEDAY

# 田子町 チャレンジデー 2023

### チャレンジデー2023 結果

	田子町	秋田県小坂町	群馬県南牧村
人口	4,986人	4,688人	1,578人
参加者	3,894人	3,458人	623人
参加率	78.1%	73.8%	39.5%



サッカー教室



あとから体がラクになる運動教室

5月31日、『運動で毎日コツコツ健康貯金』をスローガンに、田子町チャレンジデー2023が開催され、多くの町民の皆さんが運動やスポーツに親しまいました。

チャレンジデーは、5月の最終水曜日に行われる公益財団法人笹川スポーツ財団主催のスポーツイベントで、運動習慣のきっかけづくりや健康づくり、地域の活性化を目的として、全国で一斉に開催されます。田子町は今回で10回目の参加となります。

町内にいるすべての人が参加の対象で、15分以上継続して運動をした人の参加率を、人口規模が同程度の自治体と競います。今年度で最後の開催となる今回のチャレンジデーには、全国から67自治体(35市27町5村)がエントリーし、田子町は、秋田県小坂町、群馬県南牧村(なんもくむら)との3町村による対戦となりました。

午前6時20分、主会場である農業者トレーニングセンターでは、オープニングセレモニーが行われ、山本晴美町長の開始宣言のあと、町民一斉ラジオ体操を皮切りにチャレンジデーがスタートしました。

田子幼稚園やたっここども園、かみごうこども園で行われた「町長と王子にチャレンジ」、自分の体力年齢がわかる「町民体力測定」、ヴァンラーレ八戸のコーチによる「サッカー教室」、ATSUSHI DANCE SCHOOLによる「ダンス教室」、現名久井農業高等学校野球部総監督の山下繁昌さんによる「野球教室」、三浦恵さんによる「はじめてヨガ」、パラエストラ八戸による「ストライキングエクササイズ」など、この日は町内で様々なプログラムが行われました。

また、今年、元陸上競技選手の福士加代子さん

をお招きして、「私の人生を変えた言葉」と題した特別講演会が行われました。会場の農業者トレーニングセンターには約250人の町民等が集まりました。福士さんからは、これまでの選手生活の節目でかけられた言葉などを振り返りながら、当時の心境などについてお話がありました。

講演の後は質問の時間が設けられ、会場の皆さんから福士さんへたくさんの質問がありました。「この人はすごいと思った選手は誰ですか」「勝負メシは何ですか」「速く走れるコツはありますか」「どんなことを考えながら走っていますか」といった様々な質問にも福士さんは楽しそうに答え、会場からは笑いが起こるなど終始和やかな講演会となりました。

その後、チャレンジデーのファイナルセレモニーとして、町民一斉盆踊りが行われ、全員で輪になってナニヤドヤラを踊り、この日のチャレンジデーの全日程を終えました。

今年のチャレンジデーの結果は、田子町は78.1%、前回に比べると8ポイントも上回りました。対戦相手の小坂町は73.8%、南牧村は39.5%と、今回は田子町が勝利しました。カテゴリー1(人口6千人未満)の13町村の中では3番目に参加率が高いという好成績を収めました。

チャレンジデー当日は、町内の自治会や各種団体でも、それぞれが企画した取り組みが行われ、町全体で運動やスポーツをするきっかけとなった一日でした。普段からの健康づくりのためにも、今後も毎日の運動とコミュニケーションを心がけていきましょう。



はじめてヨガ



野球教室



ダンス教室



講師の福士加代子さん



特別講演会の様子



ストライキングエクササイズ

高校入学祝い金  
支給事業

## 高校ご入学 おめでとうございます

町では、高校に進学した生徒がいる世帯の経済的負担の軽減を図るため、平成27年度からの継続事業として入学祝い金を支給し、高校に通う生徒の皆さんを支援しています。

- 入学祝い金支給対象 令和5年4月に高等学校第1学年に新入学した生徒
- 入学祝い金の額 8万円

### 令和5年度の入学祝い金支給者（29名）

- |                                    |                |
|------------------------------------|----------------|
| ◎舞手 佐野しぐれ                          | ◎根渡 山崎真央       |
| ◎塚ノ上ミ 日沢隼                          | ◎野月 宇藤凜、大坊蘭    |
| ◎中本町 大野聖連                          | ◎野々上 福田幸基      |
| ◎下本町 山市愛唯音                         | ◎池振 井上時代       |
| ◎七日市 中山侑久、山本心人、釜淵聖平、<br>清水田唯月、森崎愛実 | ◎清水頭 千葉大和、山市純聖 |
| ◎南側 北村雪都                           | ◎原 平山昊也        |
| ◎西館野 岩館慶土、滝沢柑菜、坂下龍矢                | ◎道地 小笠原彩       |
| ◎衣更 大村悠士                           | ◎杉本 富樫羽妙       |
| ◎宮野 堀合優斗                           | ◎道前 岡田将宗       |
| ◎細野 坂下勇人                           | ◎関下 岩間爽風、尾形優伊奈 |
- （行政区順、敬称略）



## 第一生命との包括連携 協定締結 (※写真1)

5月18日、タプコピアンプラザ会議室で田子町と第一生命保険株式会社との包括連携協定締結式が行われました。

この協定は、田子町と第一生命保険株式会社が相互に連携し、協働により地域の諸課題に対応し、地域社会の発展と町民サービスの更なる向上を推進することを目的に締結されました。

締結式では、同社青森支社の野田淳支社長と山本晴美町長が協定書へ署名をしました。

この協定の締結により、健康増進、高齢者支援、産業振興、スポーツ振興など、幅広い分野で連携協力していくこととなります。

野田支社長は「田子町と一体となって取り組むことができる項目が増えていくことを期待している。まずは健康増進やスポーツ振興の分野で協力していきたい」と語りました。

## 田子町物産フェア inラピア (※写真2)

5月20日、21日の2日間、八戸シヨッピングセンター・ラピア催事場で、田子町物産フェアが開催されました。この物産フェアは、毎年この時期に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2年間中止し、昨年から再開して今回で12回目の開催となりました。

4店舗が出店した会場では、今シーズンの生にんじくや山菜、野菜やスイーツなどが店頭に並び、多くの買い物客が田子町の商品を買い求めていました。

また、当日は、田子町ガーリックレディの久保文乃さんや、たっこ王子も参加し、会場内で販売している商品が当たる抽選会や、たっこ王子の風船プレゼントが行われるなど、多くのお客様でにぎわいました。

## 狂犬病予防注射はお済みですか? (※写真3)

5月22日から25日までの4日間、町内各所で春の狂犬病予防注射が実施されました。狂犬病予防注射は、毎年青森県獣医師会へ委託し、春と秋に行っています。狂犬病は、人も含めほとんどの哺乳動物が感染する可能性があり、飼い犬に狂犬病予防注射を接種することで、感染のまん延防止となり被害を防ぐことができます。

狂犬病予防法では、犬の飼い主は、町へ犬の登録を行い、狂犬病予防注射を毎年1回受けさせることが義務付けられています。

今回の狂犬病予防注射は10月に行われる予定です。お済みでない方は年1回の接種を受けましょう。

## 田子小の田植え体験学習 (※写真4)

5月25日、宮野の宇藤堅



(写真2) 物産フェアの様子



(写真1) 協定締結式の様子



(写真3) 狂犬病予防注射の様子

一さんの水田で、田子小学校5年生による田植え体験学習が行われました。毎年

行われるこの体験学習ですが、今年は児童たちが苗の種まきから取り組み、自分たちで育てた苗を植えました。田植えを始める前に、児童から宇藤さんに、苗の管理のしかたや、苗の植え方について質問があり、宇藤さんは質問に答えていました。

田植えが始まると、田んぼの中でバランスを崩して転んでしまう児童がいるなど、歓声が絶えず、にぎやかな田植え体験となりました。田植えが終わった後、児童たちは「気持ちよかった」「田んぼが温かかった」「転ばないように気をつけながら植えられた」と感想を話していました。

秋には児童たちによる稲刈りや脱穀の体験学習を予定しており、収穫した米は、12月の親子レクリエーションでお餅にして食べることになるそうです。

## 豊かな心を育む「人権の花運動」

(※写真5)

5月25日、田子幼稚園と田子小学校で、「人権の花運動」が行われました。この運動は、花を植えて育てることで命の大切さに触れ、子どもたちの豊かな心を育み、人権尊重について理解を深めてもらうことを目的として実施されています。

田子小学校では、晴れやかな青空の下、2学年の児童24人と田子町人権擁護委員が協力して、10個のプラントナーにペチュニアの花の苗約40本を植えました。人権擁護委員の方々がプランターに土を入れ、その後、児童たちは人権擁護委員の方々から花の植え方を聞きながら、丁寧に植えていました。

花が植えられたプランターは、学校の正面玄関前の階段に並べられました。色とりどりに咲いたペチュニアの花が、児童や小学校を訪れた人々の目を楽しませています。

## 長年の功績を讃えて「澤頭清さんが瑞宝単光章受章」

(※写真6)

令和5年春の叙勲において、澤頭清さん(千草場)が瑞宝単光章を受章し、5月26日、役場公室で受章報告会が行われました。

澤頭さんは、昭和45年に消防団第2分団に入団し、平成15年からの6年間は団付分団長として積極的に職務にあたり、退団までの約40年間、町消防団の発展に大きく貢献しました。その功績が認められ今回の受章となりました。

報告会では、澤頭さんは、団員当時の活動を振り返りながら、今回の受章にあたっての思いを語っていました。また「今後も町の消防防災活動に協力していきたい」と話していました。

## 田子神楽養成講座開講式

(※写真7)

5月26日、中央公民館で



(写真5) 田子小学校での花植え作業



(写真4) 田子小の田植え体験学習



(写真6) 受章した澤頭さん(左から2人目)



田子神楽養成講座の開講式が行われました。田子神楽は、青森県無形民俗文化財に指定されており、伝統芸能の保存と伝承のための機会として、この養成講座が実施されています。

毎年多くの受講生が田子神楽保存会の指導のもと練習を重ねています。今年も、園児から高校生まで計27名の申し込みがあり、この日は、保存会芸芸部員の手本を見ながら、番楽や傘舞などの演目を練習しました。

今後は、6月から10月まで毎月各2回の養成講座が行われ、10月には「ひとくろめや文化祭」のステージで成果発表会が予定されています。

## 大きくなつてねー！アユの稚魚放流体験

(※写真⑧)

5月30日、新井田橋付近の熊原川で田子幼稚園の園児4名が、アユの稚魚の放

流体験を行いました。

稚魚の放流は、三戸漁業協同組合(足澤光国組合長)が河川環境の保全と水生生物の繁殖保護等を目的に町からの補助を受けて行っています。

はじめに、三戸漁業協同組合の方から、アユは川の中の苔を食べて育つこと、アユのにおいを嗅ぐとスイカのおいがることなどの説明がありました。その後、園児たちは横一列に並び、組合の方にバケツへ稚魚を入れてもらうと、「大きくなつてね」「ごはんをいっぱい食べて元気に育つてね」と言いながら、そつと川へ放流しました。園児達は稚魚を見つめるたびに、「あ、泳いでいる」「あそこにいる」とうれしそうに先生や友達に教え合っていました。

三戸漁業協同組合では、この日、田子町のほか三戸町や南部町で合計2万匹の稚魚を放流しています。

## 交通死亡事故ゼロ3500日達成 (※写真⑨)

5月25日に田子町内での交通死亡事故ゼロ3500日を達成し、6月2日、三戸警察署で表彰式が行われました。表彰式には三戸地区交通安全協会田子支部の一ノ渡尚武支部長と三戸地区交通指導隊田子支隊の大羽澤正支隊長が出席し、三戸警察署長と三戸地区交通安全協会長から表彰状を受け取りました。

町では、みろくの滝にちなみ「交通死亡事故ゼロ3690(みろく)日」を目標にしています。このまま記録を更新していくと、今年の12月1日に達成となります。

目標達成のためには、皆さん一人ひとりが交通规则とマナーを守ることが大切です。これからも交通安全に心がけ、住みよい町を目指しましょう。



(写真⑨) 表彰式の様子



(写真⑦) 養成講座の様子



(写真⑧) 放流体験をする園児たち



### 交通死亡事故ゼロ

みろく 3690日を目指しています!

7月は天候の急変の多い時期ですので、早めのライト点灯など運転準備を万全にしましょう。また、夏休みも始まりますので子どもたちの交通事故防止に努めましょう。



## ■ 戦没者追悼式開催のご案内

### ● 田子町戦没者追悼式

▼日時 8月17日(木) 午前10時~11時

▼場所 メモリアルたっこホール(田子字釜淵平56-1)

▼内容 戦没者を追悼し、平和への誓いを新たにすため宗教を伴わない献花形式による追悼式です。参加の服装は平服となります。

▼参加方法 8月4日(金)までに電話にて申し込み願います。申込みのない当日参加も可能ですが、献花等が準備できない場合もございます。参加費は無料で、どなたでも参加できます。

▼交通手段 メモリアルたっこホールまでの交通手段は、各自でご手配となります。送迎バスの運行はありませんのでご了承願います。

### ● 青森県戦没者追悼式

▼日時 8月31日(木) 午前10時~11時

▼場所 リンクモア平安閣(青森市民ホール)

▼内容 先の大戦において亡くなられた多くの青森県出身戦没者の御霊を追悼し、併せて平和を祈念します。献花は町代表者と遺族代表者となり、その他の方は参列のみです。参加の服装は平服となります。

▼参加方法 7月21日(金)までに電話にて申し込み願います。申込みのない参加はできません。参加費は無料で、どなたでも参加できます。ただし、昼食代は各自負担となります。

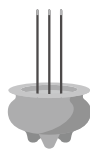
▼交通手段 町バスで送迎いたします。自家用車等での現地集合及び参加はできません。当日は、役場前を午前6時45分に町バスが発発しますので、ご乗車ください。

※その他 開催については現時点のもので、新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更となる場合があります。

### ▼問合せ・申込先

役場住民課住民環境グループ(大橋・内沢)

☎20-7113



## ◆ お試し地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の五十嵐です。

現在、田子町では私を含めて3名の地域おこし協力隊員が活動しておりますが、全員来年4月に卒業を迎えます。そのため、新たな仲間を迎えるため「お試し地域おこし協力隊」という事業を実施しています。これは、特定の都市圏に住む方々を2泊3日の短い期間で受け入れ、本格移住前に移住に関する悩みや協力隊になることの疑問を解消してもらう試みです。おかげさまで既に数名申し込みがあり、まだ枠に余裕があります。

申し込みには条件はありますが、皆様のお子さんやお孫さん、田子町を離れたご友人でも受け入れができる場合があります。そういった方がいらっしゃれば、ぜひ役場までご相談ください。お待ちしております。

## ◆ にんにくねぶた復活の第1歩

こんにちは！  
地域おこし協力隊の木村知子です。

先日、みろく館で「ねぶた de ライトワークショップ」を開催しました！

ワークショップ前に、ガーリックセンターから台車を使ってみろく館に運ぶ作業中、町の方に「にんにくねぶた、懐かしいね」と声をかけていただきました。約25年前に運行した「にんにくねぶた」を復活させるべく、協力隊で2月に青森市の「ねぶた屋」さんでねぶたづくり体験をしたのですが、にんにくねぶた復活に向けて町の方にもアイデアやご協力をいただきたいということで、今回ワークショップを開催しました。

今年にはんにく60周年、まずはにんにくまつりに向けての復活を目指すということで、今後も継続的に作業を続けていく予定です。その折には、また町の皆さんにご協力いただければと思います。

## ◆ 田子町内の取材を通して

こんにちは！ 地域おこし協力隊の木村治樹です。  
約1年間にわたり、町内における飲食店の取材をさせていただき、「広報たっこ」や「TCV」「SNS」にて事業者さんたちの歴史、想いなどを紹介させていただきました。この取材を通してお店のことだけでなく、田子町の特性やかつてあった出来事なども教えていただけました。昔から町に寄り添い、尽力されてきた皆さんの人間模様は、実に豊かで学ばせていただく部分が多かったです。この場を借りてお礼申し上げます。

今月号からは歴代の地域おこし協力隊を取材し、改めて皆さんに紹介します。なぜ田子町に来たのか？、現在はこういった活動をしているのか？など、移住者の目線から田子町を語っていただこうと思っておりますので、どうぞご期待ください。



## サマージャンボ7億円

(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

## サマージャンボミニ3千万円

(1等2千万円・前後賞各5百万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



各1枚 300円  
**7月4日(火) 2種類同時発売!**

発売期間 7/4(火)~8/4(金)

公益財団法人青森県市町村振興協会



## ■ 低濃度PCB廃棄物の調査及び期限内の処分をお願いします！

ポリ塩化ビフェニル（PCB）は、かつて事業用の電気機器の絶縁油などに使用されてきた化学物質です。しかし、人体に有害であることが分かり、既に製造が中止されたものの、今でもPCBを含んだ機器が発見されています。

低濃度PCBとは、濃度が0.5mg/kg超5,000mg/kg以下のPCBで汚染された絶縁油等を指します。低濃度PCBを含んだ電気機器には、製造後30年以上（一部例外あり）経過した変圧器や電力用コンデンサー等の高圧受電機器の他に、X線発生装置、X線検査装置、電気溶接機、昇降機制御盤などに組み込まれている低圧コンデンサーがあります。

また、低濃度PCBが使用された古い低圧進相コンデンサー（モーターで稼働する設備や業務用冷凍・冷蔵庫などの電気機器の効率を改善する目的で設置される小型のコンデンサー）が配電盤や壁などに残されたままとなっている例も多数確認されています。

PCB廃棄物は、下表の期限までに処分することが法律で義務付けられています。

今一度、低濃度PCBが使用された電気機器がないか事業所内を確認し、発見された場合は、速やかに県への届出を行うとともに、期限内に処分するようお願いします。

なお、期限までに処分しなかった場合、法律により処罰されることがあります。

### ◆ PCB廃棄物の処分期限

種類		処分期限
高濃度 PCB廃棄物	変圧器・コンデンサー等 ※1	令和4年（2022年） 3月31日【終了】
	安定器・小型電気機器等 ※1	令和5年（2023年） 3月31日【終了】
低濃度PCB廃棄物※2※3		令和9年（2027年） 3月31日

※1 万が一、これらの機器を発見した場合は、速やかに県にご連絡ください。

※2 通電中の電気機器などに近づくと、感電のおそれがあり大変危険です。必ず専門の業者に依頼して確認してください。

※3 使用中のコンデンサーなどの絶縁油封じ切り機器をPCB濃度の測定のために穴を開けた場合、当該機器は使用不可能となります。

詳しくは、青森県HP [PCB](#) [検索](#)

QRコード→



問 県庁環境保全課 ☎017-734-9584

問 三八地域県民局環境管理部

☎0178-27-5111（代表）

## ■ 災害情報案内の受付番号が変更となります

消防本部では火災などの災害情報に関して、迅速に複数の住民からの問い合わせに応じるため、災害状況等自動案内装置を通じて情報を案内していますが、7月1日から受付番号が変わります。ご利用の際はご注意ください。

【新】7月1日からの受付番号 ☎050-5536-5985

【旧】6月30日までの受付番号 ☎0180-991-888

また、八戸消防本部ホームページにも掲載しています。

[八戸消防本部ホームページ](#) [検索](#)

問 八戸消防本部指令救急課 八戸市田向五丁目1-1

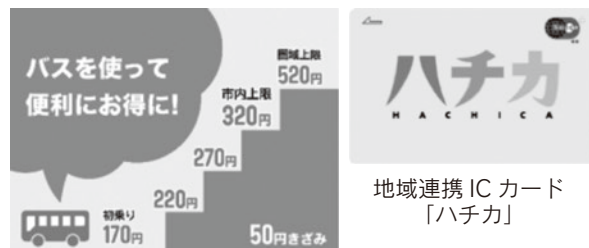
☎0178-44-2135 FAX 0178-46-1171

メールアドレス sirei@hachinohe119.jp

SCRUM EIGHT 八戸圏域連携中枢都市圏 連携中枢都市圏の取組を紹介します！  
八戸都市圏スクラム8

### 八戸圏域地域公共交通計画推進事業

利用しやすい公共交通ネットワークの構築に向けて、路線バスの上限運賃政策やICカード（ハチカ）の導入等の取組を、圏域で実施しています。



※乗り換えが発生する場合は、この限りではありません。  
※乗り継ぎが必要となる八戸市一田子町間、八戸市一新郷村間について、お得な「乗継支援企画乗車券」を販売中です。

### 公共交通による交流促進事業

公共交通を軸として圏域内外の交流を促進するため、路線バスに乗車すると圏域の施設入場券などがお得になるバスパックを販売しています。

- ・11ぴきのねこさがしバスパック
- ・このへ★馬肉料理★バスパック
- ・南部町バーデパークバスパック
- ・櫛引八幡宮国宝館バスパック
- ・八戸酒造 酒蔵見学バスパック など



八戸圏域の主要路線バス乗り放題券と提携施設のクーポン券等をスマートフォンから購入・発券できる、お得な「八戸圏域周遊パス」も販売中。

詳しくはこちら→



問 八戸市政策推進課 ☎0178-43-9248



## ■ 一次救命と AED の使い方を学ぼう

あなたの目の前で、だれかがたおれたら、どうする!?  
わたしたちにもできる一次救命処置と AED の使い方を学ぼう!

▼日時 7月26日(水) 午前9時30分～11時30分  
(受付 午前9時～)

▼場所 八戸消防本部5階防災教育・研修室  
(八戸市田向5丁目1-1)

▼定員 20組(小学生以上の子どもとその保護者)  
※申込多数の場合は抽選になります。  
※小学生は保護者の方と一緒に申し込みください。

▼申込方法 Web またはメール

◎ Web 右の QR コードから申込みフォームにアクセスし、お申し込みください。



◎メール 申込専用アドレス「hokensomu\_event@city.hachinohe.aomori.jp」へ、①参加者全員の氏名②学年③連絡先④住所を記入し、お申し込みください。

▼申込期間 6月20日(火)～7月7日(金)

問 八戸市保健所保健総務課 ☎0178-38-0706

※月曜日～金曜日午前8時15分から午後5時まで(土曜、日曜、祝日除く)

## ■ 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

### 1. 「被保険者証」の更新

被保険者証をお持ちの方に、8月から使用する新しい被保険者証を7月下旬に郵送します。

※令和4年中の所得状況によって、8月1日から医療機関窓口での自己負担割合が変わる場合があります。

お手元に届きましたら、記載内容をご確認ください。期限の切れた被保険者証は破棄するか役場住民課福祉グループへ返還してください。

### 2. 保険料の減免等

災害、倒産、失業など特別な事情によって納付が困難な場合は、申請によって保険料の減免等が認められることがありますので、役場住民課福祉グループへお早めにご相談ください。

問 役場住民課福祉グループ(前田) ☎20-7119

## ■ 八戸地域広域市町村圏事務組合の令和5年度当初予算をお知らせします



八戸地域広域市町村圏事務組合は、消防・ごみの処理・介護福祉業務など共同で行っている特別地方公共団体です。(構成市町村：八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)

### ◎一般会計

組合の基本的事業の収入・支出を経理する会計です。令和5年度の一般会計予算は76億7,500万円で、昨年度より3億6,200万円の増額となりました。

支出の主なもの	予算額
消防や救急の業務などに	41億6,915万円
し尿やごみの処理などに	27億1,980万円
組合債の元金・利子の支払いに	6億7,201万円
介護認定審査会の運営などに	9,294万円
その他、議会や組合の運営などに	2,110万円
計	76億7,500万円

財源となる収入の約8.3割は構成市町村から支出される負担金で、約64億805万円です。

市町村名	負担金額
八戸市	46億7,481万円
三戸町	1億8,639万円
五戸町	2億7,587万円
田子町	1億4,096万円
南部町	3億7,572万円
階上町	3億3,128万円
新郷村	7,412万円
おいらせ町	3億4,890万円
計	64億805万円

問 八戸地域広域市町村圏事務組合事務局  
☎0178-43-9556

## かんたん野菜レシピ

### 減塩ピクルス



#### (材料)

- きゅうり 2本
- パプリカ 1/2個
- ミニトマト 10個
- 酢 50ml、水 100ml
- A 砂糖 小さじ1
- ゆず胡椒 小さじ1



#### (作り方)

- ① きゅうり・パプリカは食べやすい大きさに切る。
- ② ボウルに混ぜ合わせたAを入れ、電子レンジ(600w)で1分間加熱する。
- ③ チャック付きポリ袋にすべての野菜と②を入れ、冷蔵庫に入れる。冷えたら完成。

★ピクルスは酢をベースにする洋風の漬物です。塩で漬ける日本の漬物に比べて塩分もずっと控えめ。

★ピクルス液には塩を用いるのが基本ですが、ゆず胡椒に代えるのもおすすめです。ピリリとさわやかな味わいが食欲をかき立てます。

(地域包括支援課栄養士 岡崎)

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：山本)  
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

## 【町民プール開き】のお知らせ

夏だ！ プールだ！ プールで涼もう！！

プール利用注意事項などのルールを守り、水泳・水中歩行など安全に楽しみましょう。



### ●プール開き

▽と き 7月14日(金) 午前10時～  
入場料無料

※天候や水温等の関係で、中止となる場合もあります。

▽開放期間 7月14日(金)～8月27日(日)

▽開放時間 午前9時30分～11時30分  
午後1時00分～4時30分

▽入場料 児童・生徒…無料  
一般…100円(1回)

※小学校3年生以下の児童は、保護者等おとなの同伴者が必要です。

※営業確認は、入口の旗を見て確認してください。

白旗…営業    赤旗…閉鎖

## 健康ウォーク2023

季節ごとに町内外のルートを楽しめる「健康ウォーク2023」を開催しています。8月は、康楽館をスタートし、ゴールにある七滝の観賞ができるコースとなっています。ご自分の体力に合わせてコースを選ぶことや親子での参加も可能です。詳細については、全戸配布されたチラシをご覧ください。

▽と き 8月20日(日)

▽ルート名 「七滝ルート」康楽館～道の駅さかさか七滝  
・はつするコース：約5.3km  
・おきがるコース：約4.0km

▽集合場所 中央公民館

▽集合時間 午前8時30分

▽受付

随時参加受付していますが、開催日の6日前までにはお願いします。なお、申込後にやむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡くださるようお願いいたします。

※各回定員20名となっております。定員を超えた場合は、参加を見合わせていただく場合がございますので、ご了承ください。

◎次回のルート情報

▽と き 10月9日(月・祝)

▽ルート名 紅葉ルート

## 【令和5年キャンプワールド】のお知らせ

今年の開催は、町内でのデイキャンプを予定しております。異年齢でのキャンプ生活の中で、助け合い励まし合い様々な活動を楽しもう！



▽期 日 8月5日(土)

▽参加対象 小学校4年生～中学校3年生

小学校1年生～3年生も保護者同伴で参加可能

※詳細等については、後日お知らせします。



## みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

### ●田子神楽養成講座

▽と き 7月7日(金)・28日(金)  
午後7時～8時30分

▽ところ 中央公民館ホール・和室

▽対 象 小・中・高の児童生徒

▽持ち物 扇

### ●いけばな講座

▽と き 7月15日(土) 午後6時30分～8時30分

▽ところ 中央公民館研修室

▽参加費 花材代1,000円前後

▽持ち物 花鋏、水入れ用ポウル、タオル等

※1週間前の金曜日までの申込みが必要です。

### ●フラワー教室

▽と き 7月25日(火) 午後7時～9時

▽ところ 上郷公民館研修室

▽参加費 3,000円程度

▽内 容 観葉植物を使った寄せ植え

※1週間前の月曜日までの申込みが必要です。

※日程や内容に変更が生じることもあります。講座情報はその都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。

新型コロナウイルス感染防止対策により、各施設利用者にはその都度確認を求める事項がありますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



# 図書館情報

## 図書館をご利用ください

一人10冊まで 2週間貸出しています

### ●「男女共同参画」に関する本の展示・貸出

- ▽期間 6/23(金)～7/16(日) 「男女共同参画週間」です。町では、
- ▽主催 役場政策推進課 男女共同参画に関するパネル展示と図
- ▽内容 6月23日から6月29日は 書の貸出を、図書館で実施します。男



女がお互いに尊重し合い、一人ひとりが自分らしく生きることができる社会とは何か、一緒に考えましょう。

- ◎パネル展示内容：「～男女共同参画の視点で考える～今からできる防災対策」
- ◎図書展示テーマ：「防災に関する本」など21冊

### ●夏休み図書館行事案内

#### ◎第66回読書マラソン

- ▽期間 7/22(土)～8/3(木) 8日間
- ▽対象 小学生以下の子どもたち
- ▽内容 期間内に何冊の本を借りて読むことができるか、自分の記録に挑戦します。



読書マラソンはじまるよ！

#### ●古雑誌お持ち帰りコーナー

- ▽期間 7/22(土)～
- ▽対象 貸出券をお持ちの中学生以上の方
- ▽内容 図書館で購入し1年が経過した古雑誌を一人3冊まで差し上げます。

### 図書館おやすみカレンダー

2023							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							
2	3	4	5	6	7	8							
9	10	11	12	13	14	15							
16	17	18	19	20	21	22							
23 <sub>30</sub>	24 <sub>31</sub>	25	26	27	28	29							

▼色の濃い日が休館日です。

#### 図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時  
日曜日 午前10時～午後4時

### 7月の図書館行事

- ▼7/5(水) 午前10時から  
ブックスタート/せせらぎの郷
- ▼7/22(土)～8/3(木)  
読書マラソン
- ▼7/22(土)～  
古雑誌お持ち帰りコーナー

#### 図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日  
(館内整理日)

田子町立図書館(担当:川村) ☎20-7221

## 新刊案内

### ●社会

- ▽年金のしくみともらい方/364ナ
- ▽おひとりさまの逆襲/上野千鶴子/369ウ

### ●家政・園芸

- ▽60歳は人生の衣替え/地曳いく子/589ジ
- ▽たまさんの食べられる庭/596ナ
- ▽ちいさな「農」のある暮らし/626チ

### ●歴史・時代小説

- ▽イクサガミ/天/今村翔吾/913イ
- ▽イクサガミ/地/今村翔吾/913イ
- ▽霹靂/惣目付臨検仕る5/上田秀人/913ウ
- ▽居酒屋お夏1/岡本さとる/913オ
- ▽居酒屋お夏2/岡本さとる/913オ
- ▽ごんげん長屋つれづれ帖1/金子成人/913カ
- ▽ごんげん長屋つれづれ帖2/金子成人/913カ
- ▽奔れ、空也/空也十番勝負10/佐伯泰英/913サ
- ▽藩邸差配役日日控/砂原浩太郎/913ス
- ▽しみしみがんもとお犬道中/まんぶく旅籠朝日屋3/高田在子/913タ
- ▽あつあつ鴨南蛮そばと桜餅/まんぶく旅籠朝日屋4/高田在子/913タ
- ▽おやごころ/まんまこと9/畠中恵/913ハ

### ●ミステリー・警察小説など

- ▽新・教場/教場6/長岡弘樹/913ナ
- ▽ネメシスの使者/中山七里/913ナ
- ▽最後の祈り/薬丸岳/913ヤ

### ●そのほかの小説など

- ▽コメンテーター/奥田英朗/913オ
- ▽夜空に浮かぶ欠けた月たち/窪美澄/913ク
- ▽怪物/坂元裕二/913サ
- ▽ペニー・レイン/東京バンドワゴン18/小路幸也/913シ
- ▽ぼんぼん彩句/宮部みゆき/913ミ

### ●エッセイなど

- ▽かみぎこうち/神木隆之介/291カ
- ▽テムズとともに/徳仁親王/288テ
- ▽あさってより先は、見ない。/山本ふみこ/914ヤ

■警察署コーナー

●警察官B(高卒)を募集します



高校卒業(見込)者を対象に警察官Bの採用試験を行います。試験日程、受験資格等は次の予定です。

▽公示日 7月7日(金)  
(試験案内等配布予定日)

▽受験資格 平成3年4月2日から平成18年4月1日まで生まれた方(大学を卒業)

■消防署コーナー

●熱中症から「いのち」を守るために



今年も熱中症になりやすい時期を迎えます。昨年、田子町でも熱中症や熱中症疑いで救急搬送が多くなっています。熱中症を予防し、楽しく夏を過ごしましょう！

◎熱中症とはなんだろう

気温や湿度が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなりさまざまな症状がおこります。また、家の中にいるだけでも室温や湿度が高いと熱中症になる可能性があります。

◎熱中症の症状

業または卒業見込みの方を除く

▽受付期間 7月14日(金)～9月1日(金)

▽第一次試験 9月24日(日) 試験場所 青森市、八戸市、弘前市

◎詳細については、試験案内等配布予定日以降に試験案内(申込書)を入手しご確認ください。

▼三戸警察署

田子警察官駐在所

☎32-3109

体温上昇、めまい、立ちくらみ、体のだるさ、頭痛、吐き気、けいれん、意識障害などがあります。

◎熱中症を予防するには

- 部屋の温度をこまめにチェックしましょう！
- 室温28℃を超えないようにエアコンを使いましょう！
- のどが渇く前に水分補給、渴かなくてもこまめに水分補給をしましょう！
- 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策もしましょう！
- 十分な睡眠を心掛けましょう！
- 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりをしましょう！

▼三戸消防署

田子分署 ☎32-3104

■夏休みにおける少年非行や犯罪被害を防止しよう！

夏休みに入ると、祭りなどで夜間に出かける機会が増え、深夜徘徊、無断外泊、飲酒・喫煙等の不良行為に走ったり、インターネットで知り合った者から性犯罪に遭う危険性もあります。



子どもたちを非行や犯罪から守るためには、親子の対話を大切にし、地域社会においては子ども一人ひとりに目を配り、非行を見逃さないようにし、犯罪の被害に遭わないよう愛の声をかけてあげましょう。

◎SNS等を利用して、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれる事例が全国的に多発しています。

スマートフォンやゲーム機等のインターネット接続機器には、フィルタリング設定をして有害情報をシャットアウトしましょう。

町の人口

令和5年5月31日現在

世帯数/2075 (±0)  
人口/4894 (-8)  
男/2362 (-2)  
女/2532 (-6)  
( ) 内は前月比です

7月の主な保健・介護予防事業予定表

4 (火) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (老人福祉センター)	20 (木) 午後2:00～4:00	八戸若者サポートステーション無料出張相談会 (せせらぎの郷)
5 (水) 午前10:00～正午	乳児健診 (せせらぎの郷)	21 (金) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (上郷公民館)
7 (金) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (上郷公民館)	25 (火) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (老人福祉センター)
11 (火) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (老人福祉センター)	26 (水) 午前10:30～正午	予防接種 (せせらぎの郷)
12 (水) 午前10:30～正午	予防接種 (せせらぎの郷)	26 (水) 午後1:00～3:00	二種混合予防接種 (せせらぎの郷)
14 (金) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (上郷公民館)	28 (金) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (上郷公民館)
18 (火) 午前10:00～午後2:30	生きがい倶楽部 (老人福祉センター)	28 (金) 午後1:30～3:30	認知症予防教室 (せせらぎの郷)

結婚

●塚本唯人 (下田子) 村上美穂 (秋田県)

お悔やみ

- 大羽澤喜一 (80歳) 下田子
- 才川金吾郎 (90歳) 矢田郎
- 久保みわ (81歳) 西館野
- 白板三男 (69歳) 野月
- 個人情報保護のため掲載を省略しています
- ※ ( ) 内は享年、( ) のあとは行政区です



心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100



# 学校の話題 田子幼稚園

## ●親子での体験・活動

幼稚園の園庭にアマガエルが顔を出す時期となりました。アマガエルは子どもたちの人気者？です。ひとりが見つけて捕まえると、私も欲しいと言って探し始めます。これから、バッタ、オニヤンマ、カマキリなど、様々な昆虫と触れ合うことになるのかな。小さな図鑑を片手に園庭を散策しています。さて、5月19日に保育参観日が行われ、親子で野菜の苗を植えた。製作をしたり、図書館に出かけ利用方法を学んだりしました。その中で、久しぶりに親子給食を行うことができました。普段はあまり見ることができない、子ども



たちが給食を食べている様子を見ていただきました。いつもは友達ちとお話したり、少しにぎやかなのですが、この日はとても静かでした。お母さんたちにとっては久しぶりの給食です。

「子どもと一緒に野菜の苗を植える機会は、幼稚園でしかないので毎年楽しみにしています」

「図書館見学など親子で体験するのも楽しかったです」

「中学校ぶりに食べた給食おいしかったです」

「また、親子給食したいです」

等のご意見をいただきました。

お母さんと一緒に活動でき、子どもたちはニッコニコの笑顔でした。お母さんたちも楽しんでくれてうれしかったです。ご協力ありがとうございました。

(原稿・画像提供 田子幼稚園)

## 俳句

夕餉まで水につけおく初胡瓜 やなた翠芳(孝芳)

夏きぎす一筆箋の花模様 森きよし(清)

飼い主と見分ける牛や夏の牧 川村キエ

傘さして回る菜園走り梅雨 山本一枝子

よそ行きの顔して被る夏帽子 中村磨也(忠亮)

上手下手言はず筍飯が好き 原秋月(菊次郎)

みろく吟社では会員を募集しています。俳句に興味のある方は、築田(☎32-3878)までご連絡ください。

## タブコピアン文芸

みろく吟社(会長 築田孝芳)

## TCV(田子町ケーブルテレビジョン)からのお知らせ

- サポートセンター(月曜～金曜 午前9時～午後5時)  
☎0120-557-759(祝日を除く)  
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- 故障受付(24時間) ☎0120-262-750  
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。





## 「日本で最も美しい村」連合 vol.20 (令和5年7月号)

### 世界の最も美しい村連合会総会2023



京都府伊根町



総会の様子



田子町のプレゼンテーション

5月23日から5月26日までの4日間、京都府伊根町で世界の最も美しい村連合会総会2023が行われ、海外7カ国から約30名と国内から約50名が参加しました。

「最も美しい村」は世界に広がるネットワークとなっており、現在、5つの正加盟国（フランス・ベルギー・イタリア・スペイン・日本）、4つの準加盟国

（スイス・ドイツ・レバノン・ロシア）が参加しています。世界連合会では、2年ごとに正加盟国持ち回りで会長国を務め、また、毎年正加盟国持ち回りで総会を開催しています。昨年5月にイタリアで開催された世界総会で、2022年度・2023年度の世界連合会会長国は日本が務めること、そして、2023年度の総会が京都府伊根町で開催されることが決定し、今回京都府伊根町で開催される運びとなりました。

総会では、「中国で最も美しい村」協会の準加盟国への加盟申請について話し合わせ、中国協会の基準が、世界総会に加盟するための基準に適合し、加盟承認されました。その後、各国活動プレゼンテーションが行われ、それぞれの加盟村が行う美しい村づくりの取り組みについて発表がありました。日本からは青森県佐井村、田子町、長野県木曾町からプレゼンテーションが行われ、田子町のプレゼンでは、地域資源である「田子神楽の後継者育成について」と「にんにくを中心としたまちづくり」について紹介が行われ、参加者の注目を浴びていました。



地域おこし協力隊  
木村治樹隊員が取材!

## 町内で頑張る地域おこし協力隊OBを紹介します

平成26年10月から平成29年9月までの3年間、田子町の初代地域おこし協力隊として活動された沢森靖史さん（旧姓：筒崎、45歳）。宮城県多賀城市に生まれ、地元で大学を卒業後は、営業や家電量販店での販売、修理担当などの仕事を経験されました。忙しい日々を送る中で以前から抱いていた自然の中での人間らしい暮らし方、地域コミュニティを大切にしたいという気持ちが強くなり、田子町への移住を決意されたそうです。

活動中のミッションは「地域資源の活用と地域振興」。趣味であった写真を撮ったり、町のCMを作ったり、人と会っては思いつくことは何でも行動され



たそうで、「町のことを優先していたら自分の時間はなかった。でも嫌なことより感謝することばかりだった」「小さいプラスを積み上げられたらいいと思っていた」と振り返られ、遠瀬や新田の風景、みろくの滝などの自然、田子町民の魅力、おいしいものを日々食べられることなど、喜びを感じる日々だったそうです。

その後、町内の方とご結婚を機に定住され、就農。にんにくとえごまを主に育てています。「病害虫との付き合い方を研究し、より良い作物を作りたい。何より、元気に平和に暮らしたいね!」といつも元気で、太陽のような笑顔で話す沢森さんは、今後の活動を見据えてらっしゃいました。